

第 99 期
株主通信

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

 フジ日本精糖株式会社

証券コード：2114



企業理念

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、健康な生活づくりに貢献します。

経営方針

- ① 顧客第一主義の徹底
- ② 会社の発展と共に社員が成長する企業文化の形成
- ③ 公正で透明性のある企業活動の推進
- ④ 社会に評価される企業価値の向上
- ⑤ 社会に貢献する企業市民活動の充実

CONTENTS

トップインタビューP 2
セグメント別の状況P 5
連結財務諸表P 7
会社概要/株式情報P 9
トピックス/ホームページのご案内	...P10
インフォメーション裏表紙

● 表紙の写真について

表紙の写真は、当社「写真同好会」の辻田 和人が撮影した作品です。



撮影地 - 山梨県 河口湖 -
【仲夏の湖畔から】

トップインタビュー



代表取締役社長 櫻田 誠司

新たな収益確保に向けた取り組みを強化。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社第99期(2021年4月1日~2022年3月31日)の営業状況をご報告し、今後の見通しとさらなる成長への取り組みをご説明させていただきます。

Q 2022年3月期の営業状況についてお聞かせください。

A コロナ禍からの回復が進む中、「イヌリン」の販売拡大が業績を牽引し、大幅な増益となりました。

国内消費は、引き続きコロナ禍の影響を受けながらも、前期と比べると全般的に回復基調を辿った1年間でした。当社の営業状況においても、精糖事業が売上高を堅調に伸ばし、機能性素材事業も「イヌリン」の販売拡大などにより、売上高および利益の大幅な増加を果たしました。

その結果、連結業績は、売上高が200億96百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益16億4百万円(同11.7%増)、経常利益19億17百万円(同8.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益16億14百万円(同34.7%増)と、期初の予想を大きく超える増益を確保しました。

主要事業の状況を振り返ると、精糖事業は、飲料や菓子関係が好調に推移した結果、販売数量は前期を上回り、増収となりました。しかし利益面は、原材料コストの増加をはじめ、エネルギー・物流コスト等の上昇により、減益となりました。

機能性素材事業は、国内・海外ともに「イヌリン」の新規採用が増加しました。特に国内では、大手ユーザーの機能性表示製品への採用が増えた他、糖質オフ製品としてのチョコレート、SDGsのニーズを捉えた植物性ミルクのたんぱく質低減用途など、採用の幅が広がり、販売数量も増加しました。海外では、タイ・インドネシアの大手乳製品メーカーの健康食品向けに採用され、東南アジアにおけるさらなる拡販の基盤を構築することが出来ました。これらの営業成果を受け、「イヌリン」を製造するタイ連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd. (以下、FTI) の収益改善が進み、機能性素材事業全体の大幅な増益を後押ししました。連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、都市部コンビニエンスストアを中心に菓子類などの需要が回復し、主力のペクチン・ゼラチンが販売を伸ばしましたが、営業活動の活性化に伴い、販管費も増加し、増収減益となりました。

その他食品事業としてタイ連結子会社DAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd. が手掛けるロングライフ食品の製造・販売は、タイの大手カフェ・レストランチェーン向けのパンが好調に推移したことなどから、増収増益となりました。

Q ユニテックフーズ株式会社が締結した業務提携をご説明願います。

A 植物肉「NIKUVEGE」を開発。健康志向とサステナブルニーズを捉え、3社協業で展開していきます。

ユニテックフーズ株式会社では、植物肉「NIKUVEGE（ニクベジ）」を開発し、植物肉事業に本格的に参入しました。植物肉事業は、健康を意識した菜食ニーズの高まりに応えるとともに、COP26において畜産から発生するメタンガスの抑制が地球温暖化を防ぐ施策であることが確認されていることから、サステナブルな社会に貢献し、今後急成長が見込まれる分野として大きな注目を集めています。「NIKUVEGE」は、優れた肉感や旨味、風味を備え、本物の肉総菜に引けを取らないおいしさが味わえる食材として業界関係者から高い評価を得ています。

この「NIKUVEGE」製品を世界中の消費者に競争力ある価格・品質で提供すべく、ユニテックフーズ株式会社は2022年1月20日、双日株式会社ならびにロイヤルホールディングス株式会社との戦略的業務提携基本合意書を締結しました。3社それぞれの強みを活かした“共創”により「NIKUVEGE」を柱とする植物肉ビジネスを推進していきます。

ユニテックフーズ株式会社は、増粘多糖類や機能性素材に関する知見と技術力を発揮し、2021年9月に設立した株式会社Tastableを核に、高品質な商品の企画・研究・アプリケーション開発等を行います。双日グループは、双日食料株式会社や株式会社ミートワンが持つ強固な畜産品の販売チャネルや高度な加工技術を結集し、原材料調達・製造・販売およびマーケティング機能を提供しつつ、業務用および市販用商品の開発・製造・販売を行います。ロイヤルホールディングス

株式会社は、長年培ってきたレストラン事業の知見を活用し、「NIKUVEGE」を使ったメニュー開発・提供を行い、店舗やその他のチャネルを通じて新たな価値を創造した料理を提供することで、お客様に驚きと感動をお届けします。これからの「NIKUVEGE」の動きにご注目、ご期待ください。

Q 今後、中期経営計画をどのように推進していきますか？

A 増大するリスクを見据え、砂糖分野への収益依存を低減し、「プラスワン」の取り組みを進めます。

足もとの事業環境は、コロナ禍に続いてウクライナ危機が大きな懸念材料となっており、砂糖をはじめとする原材料価格およびエネルギー・物流コスト等の上昇、円安の波及など、サプライチェーン全体を取り巻く直接的・間接的なリスクが広がってきました。

当社は、ローリング形式による3か年中期経営計画を掲げ、非砂糖分野の拡大を中心とする基本戦略を推進中です。砂糖事業を中心とする既存の収益基盤は、上述のような厳しい環境変化に対応してゆくことが求められ、これまで以上に非砂糖分野の収益を相対的に高めてゆく必要性を感じています。

かかる認識のもと当社は、2022年4月より「プラスワン」をキーワードとして、植物肉事業のような新たな事業の創出、既存事業においても周辺分野で新たな事業の切り口を開拓、その他業務改善など、全ての部署で、既存事業に「プラスワン」にチャレンジしてゆくことで事業拡大につなげ、環境変化を乗り越えていく考えです。

今後、FTIの「イヌリン」事業では増産体制を早期に確立し

つつ、溶解性の高い新タイプの「イヌリン」を市場に投入するなどして、国内・海外ともに拡販をより強化します。また当社製品のEC販売を通じたBtoC展開や、2023年夏に竣工予定のビジネスホテルによる不動産事業の拡充など、新たな収益確保に向けた取り組みを進めてまいります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 「SDGs委員会」を立ち上げ、スタンダード市場にふさわしい企業としての体制整備を図ります。

2023年3月期は、増収基調の維持を見込んでいますが、利益面については、近年の環境変化に伴うコストの上昇を踏まえ、減益を想定しています。施策面では、前述の「プラスワン」への取り組みを進める一方、社内に「SDGs委員会」を立ち上げ、サステナビリティ基本方針の制定をはじめ、このたび移行したスタンダード市場にふさわしい企業としての体制整備を図ります。

今回の期末配当は、1株当たり13円（普通配当11円+会社合併20周年記念配当2円）とさせていただきます。2023年3月期の期末配当は、普通配当を3円増配し、1株当たり14円（普通配当11円+増配予定3円）を実施する予定です。これは、株主の皆様への公平な利益還元のあるあり方という観点から、株主優待制度を2022年6月の株主優待品ご送付をもって廃止する一方、そのコスト+αを配当に加味する新たな還元方針にもとづくものです。

不確定・不透明な要素が多い事業環境の中、当社は安定収益を確保しつつ、さらなる成長に向けた布石を打ち、企業価値の拡大を果たしてまいります。株主の皆様には、引き続き長期のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

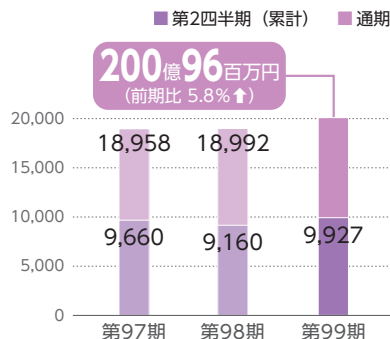


連結業績ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

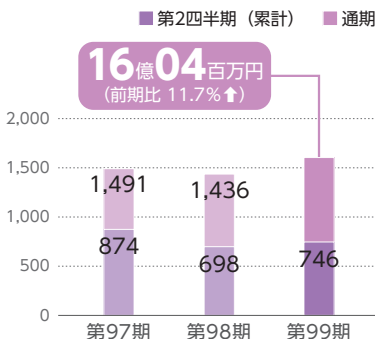
売上高

単位：百万円



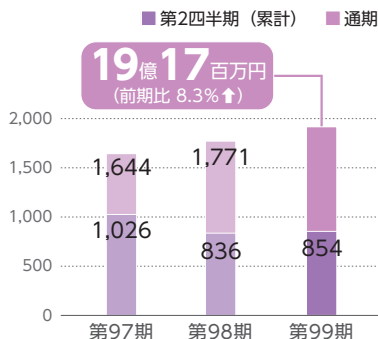
営業利益

単位：百万円



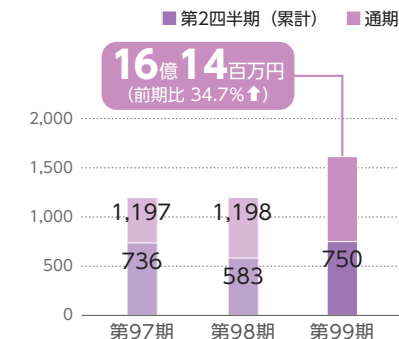
経常利益

単位：百万円



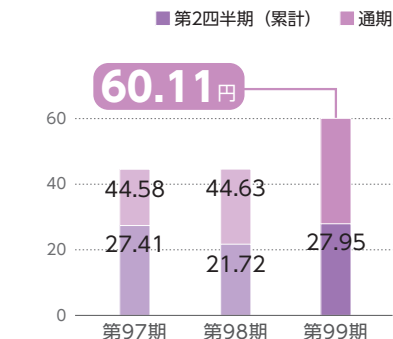
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



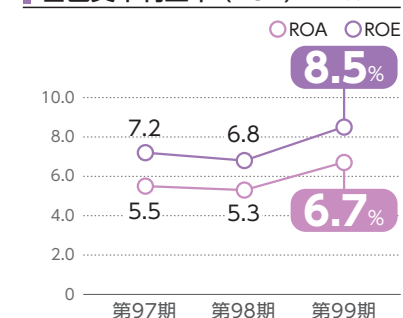
1株当たり当期純利益

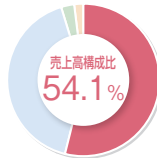
単位：円



総資産利益率 (ROA)

自己資本利益率 (ROE) 単位：%





精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

当期の概況

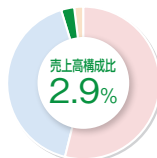
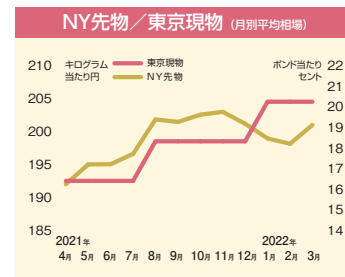
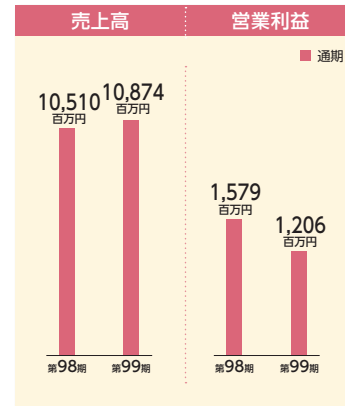
売上高：10,874百万円
営業利益：1,206百万円

精糖事業につきましては、海外原糖市況は、ニューヨーク先物市場が期初14.71セント（1ポンド当たり）で始まり、世界最大の産糖国であるブラジルにおいて霜害等の天候不順によるキビの生産減少懸念が取り沙汰されると、夏場には20.00セント台まで上昇しました。その後はタイやインドといった北半球の生産が好調であるとの見通しから上値が抑えられ、またコロナ禍による世界経済の停滞が投機資金の流出を招き、値動きも小幅に留まりました。年明け以降、一旦17.00セント台まで下落しましたが、ロシアのウクライナ侵攻により原油・小麦相場が急騰すると、粗糖相場にも波及して、19.49セントで期末を迎えました。

ニューヨーク市場先物相場（セント/ポンド当たり）の動き

期初	高値	安値	期末	平均
14.71	20.69	14.68	19.49	18.46

一方、国内製品市況は期初東京現物相場（日本経済新聞掲載）192円～193円（上白大袋1キログラム当たり）で始まりましたが、2021年8月に6円、2022年1月に6円上昇し、204円～205円で期末を迎えました。製品の荷動きとしましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響はありましたが、徐々に消費は回復し、特に飲料・菓子関係が好調に推移した結果、販売数量は前期を上回る結果となりました。利益面では、原材料コストの増加をはじめ、エネルギー・物流コスト等の上昇により、売上高10,874百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益1,206百万円（同23.6%減）の増収減益となりました。



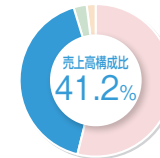
不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

当期の概況

売上高：573百万円
営業利益：534百万円

不動産事業につきましては、売上高573百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益534百万円（同16.5%増）の減収増益となりました。



機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

当期の概況

売上高：8,290百万円
営業利益：722百万円

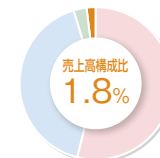
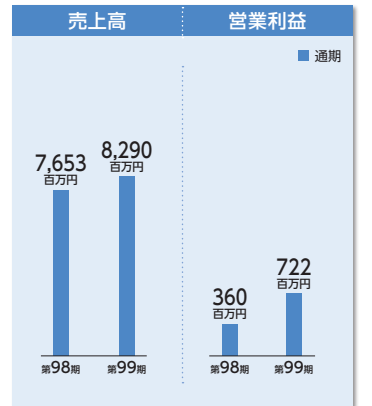
機能性素材事業につきましては、機能性食品部門「イヌリン」は、機能性を表示する大手ユーザーの新製品に採用されたことなどから販売数量は前期を上回りました。特に糖質オフ製品は、市場での認知度がさらに進み、チョコレート製品の採用が増えました。また、SDGsへの関心が高まるなか、タンパク質のマス킹効果が認められたことで、植物ミルク等の植物タンパクを使用した製品に採用され、販売数量の増加を後押ししました。

海外においては、タイ国の大手ユーザー向けの販売の他、東南アジア各国向けに販売数量を伸ばすことができました。

切花活力剤部門では、継続するコロナ禍のなか、減少する業務用需要を補うべく、テレビCMなどの販促により、家庭需要の取り込みを行うことで、前期比で増収増益となりました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社におきましては、主力製品のペクチン、ゼラチンのCVS商材向けがコロナ禍の需要減から回復傾向であることから、売上高は前期比で増収となりましたが、展示会の再開による販促コストなど販売費が増加したことにより、前期比で減益となりました。

これらの結果、売上高8,290百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益722百万円（同100.3%増）の増収増益となりました。



その他食品事業

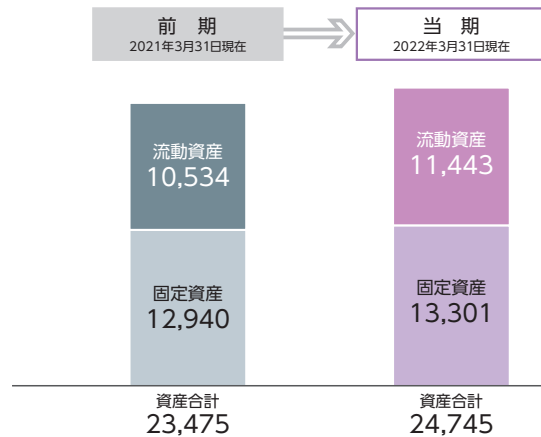
事業内容：タイ国においてパンの製造販売を行っております。

その他食品事業につきましては、タイ国での食品関連事業が中心でありましたが、売上高357百万円（前年同期比44.7%増）、営業利益16百万円（前年同期営業損失25百万円）の増収増益となりました。

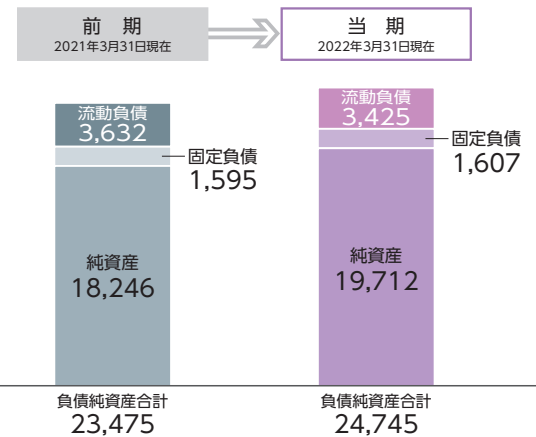


連結貸借対照表

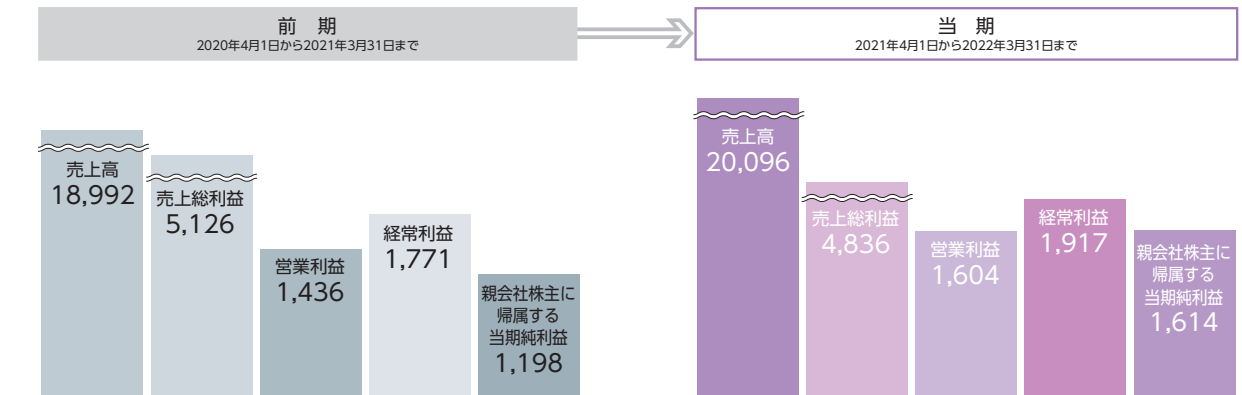
● 資産の部 (単位: 百万円)



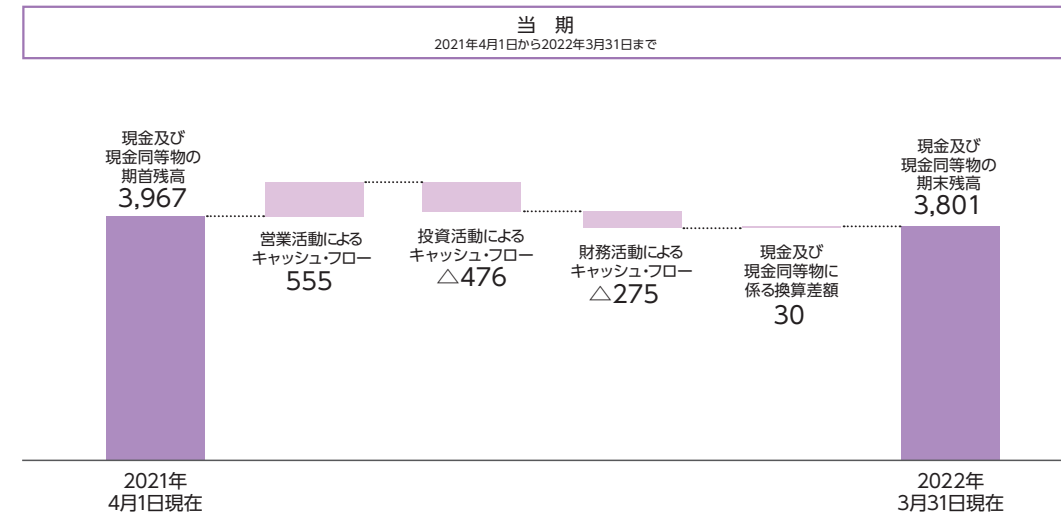
● 負債・純資産の部 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



財務のポイント

● 資産

資産につきましては、流動資産で前期末に比べ8.6%増加し、11,443百万円となりました。これは主として棚卸資産の増加等によるものであります。また、固定資産につきましては、前期末に比べ2.8%増加し、13,301百万円となりました。これは主として投資有価証券の増加等によるものであります。

● 負債

負債につきましては、流動負債で前期末に比べ5.7

%減少し、3,425百万円となりました。これは主として未払法人税等の減少等によるものであります。

また、固定負債につきましては、前期末に比べ0.7%増加し、1,607百万円となりました。これは主として繰延税金負債の増加等によるものであります。

● 純資産

純資産につきましては、前期末に比べ8.0%増加し、19,712百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加等によるものであります。

会社概要

商号	フジ日本精糖株式会社
英文名	Fuji Nihon Seito Corporation
設立	1949年(昭和24年)7月
資本金	1,524百万円
従業員数	59名
本社所在地	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町6番7号 電話 03(3667)7811(代表)
清水工場	〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号 電話 054(334)5353(代表)
横浜共同生産工場	太平洋製糖株式会社 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号 電話 045(501)0511(代表)
子会社	協立食品株式会社 ユニテックフーズ株式会社 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd. FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd. UNITEC FOODS KOREA Co.,Ltd. 株式会社Tastable
関連会社	太平洋製糖株式会社 マ・マーマカロニ株式会社 南栄糖業株式会社

役員 (2022年6月21日現在)

代表取締役社長	櫻田 誠司
取締役常務執行役員	関根 郁也
取締役上席執行役員	吉水 あつ子
取締役	高橋 明彦
取締役	曾我 英俊
取締役	和田 哲義
常勤監査役	梶田 伸哉
監査役	上平 徹
監査役	藤田 世潤

執行役員

常務執行役員	大口 真央
上席執行役員	和田 正
上席執行役員	新野 真人
執行役員	大橋 高弘

監査法人

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の状況

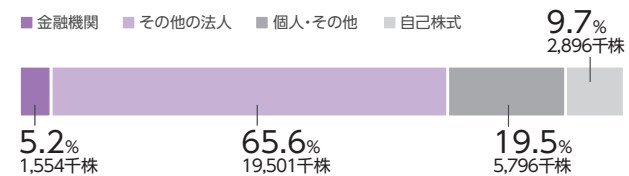
発行可能株式総数	110,000,000株
発行済株式の総数	29,748,200株
株主総数	20,703名

大株主

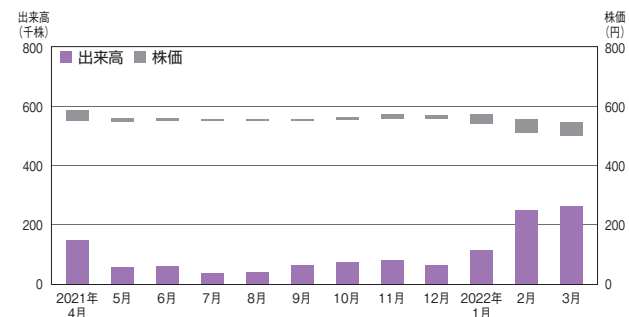
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
双日(株)	8,153	30.4
和田製糖(株)	2,411	9.0
鈴与(株)	1,902	7.1
豊田通商(株)	1,229	4.6
(株)静岡銀行	792	2.9
(株)榎本武平商店	758	2.8
小倉運輸(有)	669	2.5
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	600	2.2
(株)サカタのタネ	563	2.1
東京海上日動火災保険(株)	447	1.7

(注) 1. 持株比率は自己株式(2,896千株)を控除して計算しております。
2. 2020年10月14日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、和田製糖(株)が2020年10月9日現在で2,455千株(保有割合8.25%)を保有している旨が記載されているものの、当社として2022年3月31日現在における実質所有株式数の確認ができていませんので、上記大株主の持株数には含めておりません。

所有者別株式分布状況



株価の推移 (東京証券取引所実績)



新商品のご案内

新商品『フジのイヌリン』を発売いたしました。

1回当たり5~10g(大きさ1杯で約8g)を目安にお召し上がりください。
お茶・紅茶・コーヒーなどに溶かすと、飲みやすくなります。

※摂り過ぎ、あるいは体質・体調により、おなかゆるくなる場合があります。
※本品は、持病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。

通販サイトAmazonのフジ日本精糖公式ショップで
お買い求めいただけます。



ホームページのご案内



当社のホームページでは、IR情報や商品情報、社会貢献活動などさまざまな情報を掲載しており、ネットショッピングもお楽しみいただけます。また、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットからも閲覧しやすいレイアウトになっておりますので、是非ご覧ください。当社は今後もウェブサイトの速報性を活かし、お客様・株主様にさまざまな情報を発信してまいります。

フジ日本精糖

<https://www.fnsugar.co.jp/>



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	3月31日 なお、中間配当を行う場合は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL https://www.fnsugar.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主優待について

2022年6月ご送付の株主優待品をもちまして、株主優待制度を廃止させていただきました。

 **フジ日本精糖株式会社**

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町6番7号
TEL : 03-3667-7811 <https://www.fnsugar.co.jp/>

**UD
FONT**

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。